

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ナショナルカット 701

会社情報

会社名 : ナショナル貿易株式会社
住所 : 〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水 2 3 7 8 - 3
連絡先 : TEL : 078-941-9341 FAX : 078-941-8105
緊急連絡先 : TEL : 078-941-9341

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 金属加工油剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性 / 刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示 (GHS JP)

:



GHS07

注意喚起語 (GHS JP)

:

警告

危険有害性 (GHS JP)

:

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
水生生物に有害 (H402)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策

:

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

:

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

:

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄

:

内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

:

混合物

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
精製鉱物油（高度精製基油）	15 - 25	非開示	非開示	非開示
非イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非開示
アニオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非開示
油性向上剤	非開示	非開示	非開示	非開示
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン	1.3	(5)-998	既存扱い	4719-04-4
防腐剤	非開示	非開示	非開示	非開示
トリエタノールアミン	< 1	(2)-308	既存扱い	102-71-6
水	非開示	非開示	非開示	非開示
メチルジエタノールアミン	1.8006	(2)-300	既存扱い	105-59-9
ジシクロヘキシルアミン	1.8	(3)-2259	既存扱い	101-83-7
モノイソプロパノールアミン	1	(2)-323	既存扱い	78-96-6

危険有害成分 : ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン; 防腐剤; トリエタノールアミン

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要に応じて医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
必要に応じて医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
必要に応じて医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災危険性 : 燃焼時：一酸化炭素、二酸化炭素を放出する。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒ガスを放出する。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置
- : 皮膚、眼との接触を避ける。
 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 - 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
 - 作業所の十分な換気を確保する。
 - 区域より退避させること。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- : 環境への放出を避けること。
 - 排水溝や河川へ廃棄してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法
- : 漏出物を回収すること。
 - 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
 - 大量流出した場合は、砂や土で回収する。
- 浄化方法
- : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- 二次災害の防止策
- : 漏えいした場合、着火源を除去すること。
 - 漏出物質により滑る危険がある。
 - 火花を発生させない工具を使用すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項
- : 作業所の十分な換気を確保する。
 - 皮膚、眼との接触を避ける。
 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 - 個人用保護具を着用する。
 - 火気厳禁。
 - 皮膚および眼との接触を避けること。
- 衛生対策
- : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件
- : 換気の良い場所で保管すること。
 - 涼しいところに置くこと。
 - 火気厳禁。
- 技術的対策
- : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界値			
成分	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
トリエタノールアミン	-	-	TWA 5 mg/m ³ , STEL -

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
保護具	
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 適切な耐薬品性手袋を着用する。
眼の保護具	: 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	: 靴を含め帯電防止服の着用を推奨する
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色 ~ 褐色
臭い	: 特異臭
pH	: 9.3 (5% 水溶液)
融点	: ≤ -5 °C
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 水の存在により、引火点は測定不能である。
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 0.98 g/cm ³ (15°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: 水に可溶
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率:	: 59 mm ² /s (40°C)
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では危険な反応は知られていません。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 分類できない (蒸気)

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

分類できない (粉じん、ミスト)

精製鉱物油 (高度精製基油)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 5000 µl/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	> 5 mg/l/4h
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
LD50 経口	580 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 4000 mg/kg (Source: ECHA_API)
LC50 吸入 - ラット	0.338 mg/l/4h
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値が、580mg/kg bw, 928mg/kg bw (DFGOT Vol. 2 , 1991) と、いずれも「区分 4」に分類される。
急性毒性 (経皮)	ラット LD50>2000mg/kg (RTECS (2003)) のデータがあるが、区分外にするにはリスト 3 のデータであり、他にデータがないことから分類できないとした。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
LD50 経口	8000 mg/kg
LD50 経皮	2500 mg/kg
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値: 8,680 mg/kg、9,110 mg/kg (ACGIH (7th, 2001) 、PATTY (6th, 2012)) 、8,000 mg/kg (PATTY (6th, 2012)) 、8,000 - 9,000 mg/kg 及び 4,200-11,300 mg/kg (NTP TR 518 (2004) 、SIDS (2001)) から区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの経皮 LD50 値> 2,000 mg/kg (SIDS (2001)) 及びウサギの皮膚に 2 g/kg を 24 時間経皮適用した試験で死亡が認められていない (NTP TR 518 (2004)) との記載に基づいて区分外とした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
LD50 経口	4570 mg/kg
LD50 経皮	3570 mg/kg
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値=4.57g/kg(PATTY (5th, 2001)) 及び 4780mg/kg (DFGOT vol.9 (1998)) により JIS 分類では区分外 (国連分類基準の区分 5) となる。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値= 5990 (3570-10070) mg/kg (DFGOT vol.9 (1998)) 、>5990mg/kg (IUCLID (2000)) 、ca. 10000-11300 mg/kg bw (IUCLID(2000))、10244 (male) -11336 (female) mg/kg bw (IUCLID(2000))、に基づき JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
LD50 経口	200 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	200 - 316 mg/kg (Source: ECHA_API)
LD50 経皮	200 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 1.4 mg/l (Exposure time: 6 h Source: ECHA_API)
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	2.1 mg/l/4h
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値には、373 mg/kg〔PATTY (5th, 2001) 〕、200 mg/kg 〔IUCLID (2000)〕、240mg/kg (ca.) 〔HSDB (2003)〕、500 mg/kg 〔IUCLID (2000)〕があるが、これらのうち危険性の高い区分を採用して区分 3 とした。

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24

改訂日: 2023/08/09

急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値には、316 mg/kg (PATTY (5th, 2001))、200-316 mg/kg (HSDB (2003)) があり、これらにより区分 3 とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS 定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラットの LD50 値 > 1,4 mg/L, 6hour(s) (4 時間換算値 LC50 = 2.1mg/kg) (IUCLID (2000))により区分 4 とした。なお、飽和蒸気圧濃度 (188.7 ppmV) の 90%値 (40 ppmV) より高いのでミストと判断した。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
LD50 経口	2098 mg/kg
LD50 経皮	1560 mg/kg
急性毒性 (経口)	ラット LD50 = 4260mg/kg, 4000mg/kg, 2098mg/kg (DFGOT (1998)) に基づき JIS 分類基準の区分外 (国連分類の区分 5) とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 = 1560 mg/kg, 1851 mg/kg (IUCLID (2000)) より区分 4 とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない	
ナショナルカット 701	
pH	9.3 (5% 水溶液)
精製鉱物油 (高度精製基油)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギによる複数の皮膚刺激試験において、皮膚刺激性に区分する結果は得られていない。ただし長期間または繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるので注意すること。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
皮膚腐食性/刺激性	ACGIH (7th, 2001)、SIDS (2001)、IARC 77 (2000)、及び NTP TR 518 (2004) の「ヒトで高濃度ばく露又は反復ばく露により皮膚刺激性が認められた」との記述から、区分 2 とした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギの試験で「slightly irritation」(DFGOT vol.9 (1998)) というデータがある。またその他のデータも同様なものを示しているので JIS 分類基準の区分外 (国連分類基準の区分 3) とした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験において 6 匹に 24 時間塗布し 21 日間観察した結果、24-72 時間の皮膚一次刺激指数の平均スコアは腐食性 (corrosive) (HSDB (2003)) と判定され、他の試験でも、重度の腐食性 (highly corrosive) (IUCLID (2000)) や即時性の壊死形成 (immediate necrosis) (IUCLID (2000)) などの報告があることから区分 1 とした。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ皮膚に試験物質を希釈せず 15 分以上適用により壊死を生じ (DFGOT (1998))、また、DOT 腐蝕試験の結果から皮膚腐食性に分類されている (DFGOT (1998)) ことから区分 1 とした。なお、高濃度溶液 (10 g/L) で PH は 11.3 (20 °C) であり (IUCLID (2000))、EU では R24 に分類され

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

	ている。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
ナショナルカット 701	
pH	9.3 (5% 水溶液)
精製鉱物油（高度精製基油）	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギによる複数の眼刺激試験において、眼刺激性に区分する結果は得られていない。
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの試験において、「中程度から重度の刺激性あり。」と記述（DFGOT Vol.2 (1991)）されていることから、区分 2A とした。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ACGIH (7th, 2001)、PATTY (6th, 2012)、及び NTP TR 518 (2004) の「ウサギを用いた眼刺激性試験で刺激性が認められ、14 日後に完全に回復した」との記述から、区分 2A とした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの試験で充血、腫脹、結膜出血、角膜混濁（DFGOT vol.9 (1998)）が見られ、8 日目に回復したことにより区分 2B とした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	皮膚腐食性で区分 1 に分類されている。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギ眼に試験物質を希釈せず適用した場合、重度の結膜うっ血、中等度の虹彩発赤、角膜混濁を起こし、角膜の損傷は適用 21 日後にも観察されている（DFGOT (1998)）。別の試験では腐食性、あるいは重度の刺激性を示し、角膜混濁および白内障に至っている（DFGOT (1998)）。以上の結果に基づき区分 1 とした。なお、高濃度溶液（10 g/L）で PH は 11.3（,20℃）であり（IUCLID (2000)）、EU では R24 に分類されている。
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
精製鉱物油（高度精製基油）	
皮膚感作性	ビューラーテスト(モルモット)により皮膚感作性なしとの結果である。
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
皮膚感作性	モルモットにおける皮膚感作性試験において感作性を示す（陽性率 100%）記述があり（DFGOT Vol.2(1991)）、また EU 分類において Xi;R43 に分類されていることから区分 1 とした。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
皮膚感作性	ACGIH (7th, 2001)、IARC 77 (2000)、及び NTP TR 518 (2004) の「ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告がある」との記述から、区分 1 とした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
皮膚感作性	モルモットの皮膚感作性試験において「not sensitizing」（IUCLID(2000)）であるので区分外に相当するが、リスト 2 のデータであることから分類できないとした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
呼吸器感作性	データなし。

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

皮膚感受性	データなし。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
呼吸器感受性	データなし。
皮膚感受性	ヒトで男女 150 人の背部皮膚適用により 3 週間以内に 9 回の感作誘導を行い、その 2 週間後の惹起処置においてアレルギー性皮膚炎を誘発しなかったとの記述 (DFGOT (1998)) に基づき区分外とした。なお、別途男女各 25 人に 3 日間の感作誘導時に合わせ紫外線照射を行った光感受性試験においても、光アレルギー反応を起こしていない (DFGOT (1998))。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

精製鉱物油 (高度精製基油)	
生殖細胞変異原性	広範囲な変異原性試験 (in vivo 及び in vitro) が実施されているが、大部分の結果から変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
生殖細胞変異原性	ラットを用いた経口、経皮、皮下投与による小核試験 (DFGOT Vol. 2 (1991)) (体細胞を用いる in vivo 変異原性試験) において陰性であることから区分外とした。なお、エームス試験 (in vitro 変異原性試験) においては陰性もしくは陽性の結果が得られている NTP DB (Access on 12. 2008)。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
生殖細胞変異原性	分類ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、In vivo では、マウスの末梢血を用いる小核試験で陰性の結果がある (IARC 77 (2000)、NTP TR 518 (2004)、NTP DB (Access on June 2013))。さらに、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である (SIDS (2001)、IARC 77 (2000)、ACGIH (7th, 2001)、NTP DB (Access on June 2013))。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
生殖細胞変異原性	マウスの腹腔内投与による骨髓小核試験 (体細胞 in vivo 変異原性試験) で陰性 (IUCLID (2000)) の結果に基づき区分外とした。なお、in vitro 変異原性試験: Ames 試験で陰性 (NTP DB (access on 8. 2008)) (DFGOT vol.9 (1998)) の結果がある。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
生殖細胞変異原性	in vivo のデータがなく分類できない。なお、in vitro 変異原性試験では哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験で陰性、微生物を用いた遺伝子突然変異試験で陰性の結果がある。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
生殖細胞変異原性	in vivo のデータがないので分類できない。なお、in vitro では細菌を用いた変異原性試験が実施され、一部で陽性結果が報告されている (NTP DB (access on 11.2008))。

発がん性 : 分類できない

精製鉱物油 (高度精製基油)	
発がん性	各種動物の皮膚暴露試験から得られた知見により発がん性はなしと判断されている。IARC では高度精製油はグループ 3 (ヒトに対して発がん性について分類できない) に分類され、ACGIH でもほぼ同様の分類がなされている。EU による評価では発がん性物質としての分類は適用される必要はない。

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

トリエタノールアミン (102-71-6)	
発がん性	IARC 77 (2000) でグループ 3 に分類されていることから、分類できないとした。分類ガイダンスの改訂により区分を変更した。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
発がん性	データなし。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
発がん性	データなし。
生殖毒性	: 分類できない
精製鉍物油 (高度精製基油)	
生殖毒性	ラットによる発育毒性および生殖毒性試験から得られた知見により、これら毒性を示す結果は得られておらず、生殖毒性なしと判断する。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
生殖毒性	IARC 77 (2000) のラット及びマウスを用いた 2,000 mg/kg 以上の用量で 13 週間経皮投与した試験で精子検査及び雌の性周期に影響が認められなかったとの記述、NTP TR 518 (2004) の妊娠中マウスに 1,125 mg/kg を経口投与した試験で胎児/出生児に影響が認められなかったとの記述、並びに IARC 77 (2000) のラットに 500 mg/kg、マウスに 2,000 mg/kg を交配前から授乳期間終了まで経皮投与した試験で繁殖能及び兒動物の成長に影響が認められなかったとの記述から、経皮経路では区分外に相当するが、経口経路による繁殖試験データがないため、データ不足のため分類できないとした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
生殖毒性	ラットの器官形成期に経口投与した試験で、親ラット (雌) に体重減少・摂餌量の減少・一過性の摂水量の減少・腎臓重量の増加などの一般毒性が見られる用量で、仔の着床後死亡 (出産後 0 日)・死亡率 (出産後 0-4 日) の増加 [Teratogenic (12th, 2007)] の報告があり、区分 2 と判断した。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
生殖毒性	ラットの経口投与試験において、親ラット (雌雄) の体重増加抑制や摂餌量の低下などの一般毒性を示す用量 80 mg/kg で、新生仔の生存率が著しく低下し、哺育期間に粗毛、児集め不良が認められた (厚労省報告 (access on June 2008)) ことから区分 2 とした。なお、被験雌ラット 12 匹中妊娠 21-22 日に 2 匹が死亡したが、発生毒性を示した用量 (80 mg/kg) はラットの LD50 値 (経口) (200 mg/kg (IUCLID (2000))、240mg/kg (ca.) (HSDB (2003))) よりも低い。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
生殖毒性	妊娠期間中のばく露後 21 日目に検査されたラットの試験が生殖に関する唯一の情報であるが、資料として不十分で評価できないとも記述 (DFGOT (1998)) にされているので明らかにデータ不足である。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

精製鉍物油 (高度精製基油)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	急性試験による各種特定臓器への単回暴露毒性は認められていない。
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ウサギにガイダンスの区分外に相当する 2.2 g/kg bw, 3.48 g/kg bw, 5.53g/kg bw の用量を 24 時間適用した経皮試験において、紅斑、皮膚の損傷

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

	およびヘマトクリット値の減少、赤血球と白血球の減少等の記述があるが、他に十分なデータがなく分類できない。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	NTP TR 518 (2004) のヒトへの影響として蒸気が鼻を刺激するとの記述から、区分 3 (気道刺激性) とした。
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット吸入毒性で飽和蒸気濃度での試験で毒性症状が無いという情報がある (DFGOT vol.9 (1998)) が、蒸気吸入時の毒性発現濃度の記載がなく、データ不足で分類できないとした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足。なお、動物に飽和した蒸気を 30 分あるいは 90 分間、吸入投与した実験で粘膜刺激性の所見があるが、常温の飽和蒸気圧が低く試験動物が実際に吸入した蒸気濃度が推定できていない (DFGOT (1998)) 。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない	
精製鉍物油 (高度精製基油)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	経皮及び吸入投与による 4 週間から 2 年間の反復毒性試験を行ったが全身に対する影響は確認されなかった。
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	モルモットの 5 週間の吸入試験 (8 時間/日・5 日/週) において病理学的な変化は認められないとの報告 (DFGOT Vol. 2 (1991)) があるが、ばく露濃度等に関する十分な情報がないことから、このデータのみでは分類できない。
トリエタノールアミン (102-71-6)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	IARC (2000)、ACGIH (7th, 2001)、PATTY (6th, 2012) に記載された経皮 (マウス: 13 週間及び 2 年間)、経口 (ラット、マウス、モルモット: 12-13 週間及び 2 年間) 又は吸入 (ラット、マウス: 16 日間) ばく露試験において、いずれの試験も区分 2 のガイダンス値範囲の投与量を上回る用量 (経皮 (200-2,000 mg/kg/day)、経口 (200-3,000 mg/kg/day)、吸入 (0.36 mg/L/6 hr)) までばく露しても、重大な毒性影響が認められなかったとの記述から区分外とした。
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた 28 日間の反復経口投与試験において 70mg/kg の投与では、一般状態の観察において流涎や痙攣が認められ、被験物質による自律神経に対する毒性学的影響が疑われることから、無影響量は雌雄とも 20mg/kg である (厚労省報告 (2008)) との報告がある。NOEL20mg/kg の 90 日換算値は 64mg/kg となり、ガイダンス値の区分 2 の範囲内に該当することから区分 2 (神経系) とした。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットを用いた 90 日間反復経口投与試験では最高用量 (2200 mg/kg bw/day) において肝臓と腎臓の重量変化以外の所見は報告されていない (DFGOT (1998))。また、マウスとラットを用いて最高濃度 0.24 mg/L (ガイダンス値 90 日補正: 0.037 mg/L) で 2 週間 吸入暴露した試験においても試験物質の影響は見られていない (DFGOT (1998))。前者のラットの 90 日間の経口試験ではガイダンス値範囲の上限を超える用量で重大な影響の記述はな

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

	いが、試験データが古く（1951 年）この情報のみでの分類には疑義が残る。また、後者の 2 週間吸入試験でも毒性影響が認められなかったが、試験濃度が低いいためデータは分類に寄与しない。したがって結論として「分類できない」とした。
誤えん有害性	: 区分に該当しない
精製鉱物油（高度精製基油）	
誤えん有害性	誤嚥有害性;区分 1(40℃動粘度 ; 20.5mm ² /s 以下の場合)
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
誤えん有害性	データなし。
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
誤えん有害性	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に有害、長期継続的影響によって水生生物に有害。
水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に有害

精製鉱物油（高度精製基油）	
水生環境有害性 短期（急性）	水にほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。 96h LC50> 100mg/L(魚類、ファットヘッドミノー) NOEL >100mg/L(魚類、ファットヘッドミノー、14 日間) 48h EC50>10000mg/L(甲殻類、オオミジンコ) NOEL >10mg/L(甲殻類、オオミジンコ、21 日間) NOEL >100mg/L(藻類、セレンストラム)
水生環境有害性 長期（慢性）	生分解性試験結果 ; 31%(28 日間)本質的生分解性を有するが、易生分解性ではない。 一般的には水に対して浮く性質がある。 log Kow=3 以上と推測され、地表で漏出した油は土壌に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (ファットヘッドミノー)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 10000 mg/l (オオミジンコ)
NOEC 魚 慢性	> 100 mg/l (ファットヘッドミノー、14 日間)
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキシエチル-S-トリアジン (4719-04-4)	
水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類(オオミジンコ) の 48 時間 EC50 = 26.1mg/L (ECOTOX, 2008)から区分 3 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急性毒性区分 3 であり、急速分解性がない (SRC: BioWin V4.10) ことから区分 3 とした。
EC50 - 甲殻類 [1]	26.1 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -2.3 (at 24 °C (at pH 5))
トリエタノールアミン (102-71-6)	
水生環境有害性 短期（急性）	藻類 (Scenedesmus subspicatus) 96 時間 EC50 = 169 mg/L、甲殻類 (オオミジンコ) 24 時間 EC50 = 1386 mg/L、魚類 (ファットヘッドミノー) 96

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24

改訂日: 2023/08/09

	時間 LC50 = 11800 mg/L (いずれも SIDS, 2001) であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性でない (BOD による分解度: 0% (既存点検, 1978)) が、甲殻類 (オオミジンコ) の 21 日間 NOEC = 16 mg/L (SIDS, 2001) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、藻類、甲殻類、魚類ともに急性毒性が区分外相当であり、難水溶性ではない (Miscible in water, HSDB, 2013) ことから、区分外となる。以上の結果より、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	11800 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	1386 mg/l
ErC50 藻類	169 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	16 mg/l
N-メチルジエタノールアミン (105-59-9)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (セネデスマス) の 96 時間 EC50 = 20 mg/L (IUCLID, 2000) から、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分 3 であり、急速分解性がない (難分解性、BOD による分解度: 22、0、0% (既存点検, 2005)) ことから、区分 3 とした。
ErC50 藻類	20 mg/l
N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) 48 時間 EC50 (遊泳障害) = 8.0 mg/L (環境省生態影響試験: 2018、環境省リスク評価第 14 巻: 2016) であることから、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (良分解性、BOD による分解度: 76.9% (化審法 DB: 1976))、藻類 (Desmodesmus subspicatus) の 72 時間 NOEC (生長速度) = 0.016 mg/L (OECD SIDS: 2006、環境省リスク評価第 14 巻: 2016)、甲殻類 (オオミジンコ) の 21 日間 NOEC (繁殖障害) = 0.016 mg/L (OECD SIDS: 2006) であることから、区分 2 とした。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (良分解性、BOD による分解度: 76.9% (化審法 DB: 1976))、魚類 (マダカ) の 96 時間 LC50 = 12 mg/L (環境省生態影響試験: 2018、環境省リスク評価第 14 巻: 2016、OECD SIDS: 2018) であることから、区分 3 となる。以上の結果から、区分 2 とした。
LC50 - 魚 [1]	12 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	8 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	0.016 mg/l
NOEC 藻類 慢性	0.016 mg/l
モノイソプロパノールアミン (78-96-6)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (Desmodesmus subspicatus) 72 時間 EC50 (生長速度) = 32.7 mg/L (OECD SIDS: 2011) であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データが得られていない。急速分解性があり、蓄積性がない (LogKow -0.96 (NLM HSDB: 2018)) ことから、区分外とした。
ErC50 藻類	32.7 mg/l

残留性・分解性

ナショナルカット 701	
残留性・分解性	データなし

ナショナルカット 701

ナショナル貿易株式会社

作成日: 2016/06/24
改訂日: 2023/08/09

精製鉱物油（高度精製基油）
急速分解性でない
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキエチル-S-トリアジン（4719-04-4）
急速分解性でない

生体蓄積性

ナショナルカット 701	
生体蓄積性	データなし
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキエチル-S-トリアジン（4719-04-4）	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -2.3 (at 24 °C (at pH 5))

土壌中の移動性

ナショナルカット 701	
土壌中の移動性	データなし
ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス・ヒドロキエチル-S-トリアジン（4719-04-4）	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	< -2.3 (at 24 °C (at pH 5))

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: 分類できない
その他の有害な影響	: 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
残余廃棄物	: 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。
汚染容器及び包装	: 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)	海上輸送(IMDG)	航空輸送(IATA)
国連番号		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
国連正式品名		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
輸送危険物分類		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
容器等級		
規制されていない	規制されていない	規制されていない
環境有害性		
規制されていない	規制されていない	規制されていない

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

陸上規制 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法等に定められている運送方法に従うこと。
緊急時応急措置指針(ERG)番号 : 171
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
トリエタノールアミン（政令番号：381）（1%未満）
鉱油（政令番号：168）（15～25%）
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法分類 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）(令和5年4月改正) : 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
ヘキサヒドロ-1, 3, 5-トリス（2-ヒドロキシエチル）-1, 3, 5-トリアジン（管理番号：725）（1.3%）
船舶安全法 : 非該当
航空法 : 非該当
海洋汚染防止法 : ばら積み運送：未査定物質、個品運送；該当しない

政府インベントリリスト

アメリカ(TSCA) : 収載あり
INACTIVE 物質含有
カナダ(DSL) : 収載なし
オーストラリア(AICS) : 収載なし
韓国(KECL) : 収載あり
中国(IECSC) : 収載あり
ニュージーランド(NZIoC) : 収載なし
フィリピン(PICCS) : 収載なし
台湾(TCSI) : 収載あり
輸出統計品目番号(HSコード) : 3403.19-000
HSコードについて : 参考情報として HS コードを記載していますが、解釈・用途等により他コードを適用可能な場合があります。輸出の際には、輸出者の責任において選択した上で税関の指示に従い適切に対応して下さい。

16. その他の情報

連絡先 : ナショナル貿易株式会社
電話番号 078-941-9341 Fax 番号 ; 078-941-8105
E-mail ; gyomu@ntc-jp.com
参考文献 : GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z7253:2019）。

その他の情報

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)。
事業者向け GHS 分類ガイダンス (経済産業省)。
日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン。
製品評価技術基盤機構(NITE) GHS 分類データ。
界面活性剤の GHS 対応 SDS 作成ガイド (日本界面活性剤工業会)

: EU REACH 登録については弊社営業担当にお問い合わせ願います。
韓国に輸入する際は化学物質の登録及び評価に関する法律(K-REACH)に
基づき登録が必要になる場合があります。
詳しくは弊社営業担当にお問合せ願います。
台湾インベントリー(TCSI)登録あるいは準拠物質を台湾に輸入する際に
100 kg/年の量を超える場合 (混合物の場合は各成分毎の量) は
輸入者による第 1 段階登録が必要です。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではありません。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。当該安全データシートは本製品にのみ使用するべきであり、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがあります。